

第2回 平生まち・むら地区防災会議ご報告

平成29年6月26日(月)に開催いたしました「第1回平生まち・むら地区防災会議」の内容について、地区内の皆さまに以下のとおりご報告いたします。

1. DVD視聴「萩市東部集中豪雨災害の記録」(平生町貸出)

2. グループワーク(近隣自治会6~8人ずつで班作成)

<前半>大雨や大水災害等で不安に思っていることや希望を付箋に書いて発表する。

一番多かったご意見は「どのタイミングで逃げたらいいのかわからない」というものでした。次に多かったのが、「川のそばに住んでいるので不安」、というものでした。

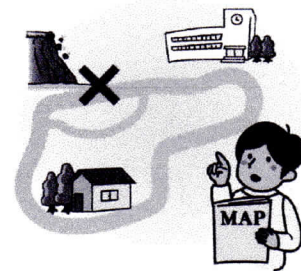
そのほかに不安なこととして、高齢者や認知症の方はどう逃げたらよいか・戸数の多い避難場所は皆が逃げてくると二次災害が起こるのではないか・町内の水路で水はけの悪いところがある・橋がダメになったらどうやって逃げるのか・安全な建物は?・安全な服装は? 車で逃げられる?—という意見がありました。

また、外に出ないほうがいいのではないか・避難しなくてもよいという消極的な人がいる等のご意見もありました。

<後半>前半で出た意見についての解決策、その他フリートーク。

- ・防災放送が聞こえない。各家庭に防災無線をつけてほしい。
- ・「自主防災会議」を各自治会で開催したほうがよい。
(自治会長だけの負担にならないように役割を決める。)
- ・避難準備の段階でセンターへ逃げよう。深刻になる前に。
- ・各自逃げて自分の命を守る。それから助け合う。
- ・避難場所がよくわかる災害マップを作成したい。
(災害の種類によってルート・場所を変える。)
- ・雨は逃げない。家が一番安全。逃げるなら国道へ。
- ・日頃のコミュニケーションが大事。
- ・今日の防災会議の内容を自治会にお住いの皆さんへぜひ伝えてほしい。

以上のご意見がありました。







今後は、自治会ごと及び災害の種類ごとの避難場所や経路を地図に記入していき、平生まち・むら地区独自の「防災マップ」を作成したいと思います。

次回の防災会議は秋頃の開催を予定しております。その際には各行政協力員さん宛に文書をお配りいたしますので、各自治会から1名以上のご出席をお願いいたします。

土砂災害から身を守るためには、日頃の備えと早めの避難が必要です

《いざというときの心構え》

	<p>雨に注意していますか？ 土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。</p>
	<p>避難場所は決まっていますか？ 普段から家族全員で、避難場所・避難する道順を決めておきましょう。災害が起きたとき、家族全員一緒にいるとは限りません。そんな時も、あらかじめ避難場所をみんなで決めておけば安心です。</p>
	<p>逃げ方を知っていますか？ 土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。</p>
	<p>非常袋を常備していますか？ 食料・飲料水・懐中電灯・ラジオ・貴重品・衣料品などを入れた非常持ち出し袋を常備しておきましょう。</p>

避難指示（緊急）（旧名称 = 避難指示）

人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された場合に発令

とるべき行動

避難所等に立ち退き避難しそびれた方も、直ちに立ち退き避難をしましょう。避難所等に移動することが危険な

場合は、2階など屋内で安全を確保しましょう。

